

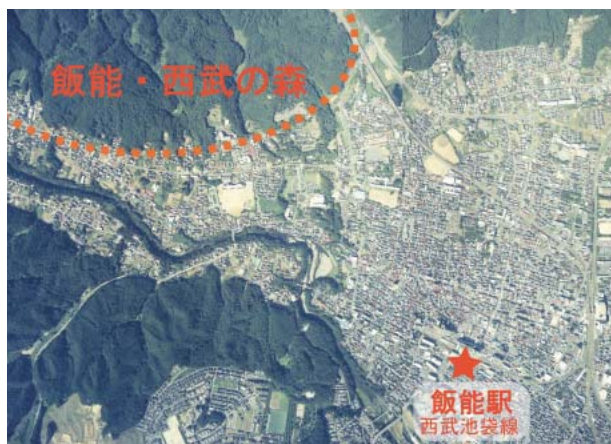
企業が育む都市の緑

社会・環境貢献緑地

飯能・西武の森 (埼玉県飯能市)

西武鉄道株式会社
財団法人 都市緑化基金

環境保全・社会貢献への転換
西武鉄道では、飯能市街地に近接する天覧山・多峰主山を中心とした自社が所有する約77ヘクタールの豊かな森林を「飯能・西武の森」と名づけ保全し、地域の資産として活用していく取組みを行っています。この会社としての取組み姿勢を明確に位置づけて発信するために、(財)都市緑化基金が運営する「社会・環境貢献緑地評価システム (SEGES) ※」を受審しました。自然環境資源としての価値や、保全活用や地域との連携に関する姿勢などが高く評価され、本年5月にExcellent Stage 2の認定を受けました。



飯能・西武の森位置図

西武鉄道では、グループのビジョンとして「常に、自然環境・地球環境への配慮を忘れません」と掲げています。企業の社会的責任の観点からも、環境や地域貢献の具体的なアクションプランの提示が求められています。これらを受け、かつて住宅供給を目的に取得した土地を、社会・環境への貢献を目的とした土地利用へと転換することとしました。「飯能・西武の森」では、行政や市民グループとの協働により保全活動を展開するなど、地域と共に緑を育む環境コミュニケーションに努めています。



飯能・西武の森からの飯能市街地の眺め(手前部分)

「飯能・西武の森」の取組み
自然豊かなこの緑地には、西武池袋線飯能駅から徒歩20分という便利さもあり、年間を通じ多くのハイカーが訪れます。埼玉県の指定天然記念物であるハンノウザサや、トウキョウサンシヨウウオといった貴重種の生息地も含まれており、その恵まれた自然環境は、環境学習やエコツアーのフィールドとしても大いに活用されています。
「飯能・西武の森」では、貴重種をはじめとした生物多様性の保全に配慮した維持管理計画を立案し取り組んでいます。計画的な間伐・枝打ち下草刈りによる健全な森林経営を行い、CO₂

※社会・環境貢献緑地評価システム (SEGES) (財) 都市緑化基金

企業などが保有する都市の緑を、社会・環境に貢献する資産であるとの視点から評価認定するもの。緑地の機能発揮状況、取組み姿勢体制を評価。28の緑のトップランナーを認定。第三次環境基本計画では、企業の環境保全に関する取組みの評価手法として位置づけ。

<http://www.seges.jp/>





飯能・新緑ツアーの様子



飯能・西武の森でのエコツアーの様子



はんのう市民環境会議 開催概要のお知らせ



トラツグミ

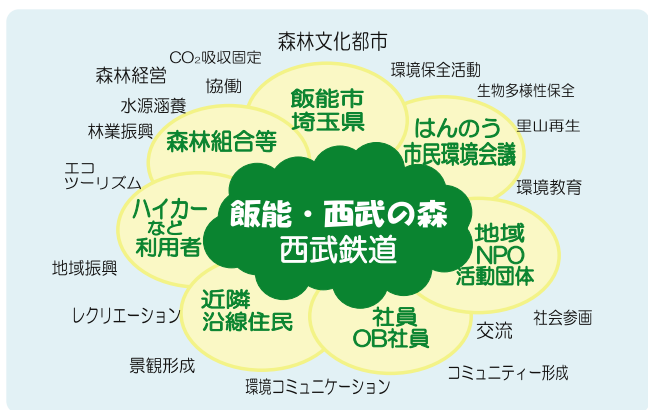


天覧山谷津の里づくりプロジェクト 田んぼ再生作業

の吸収・固定や水源涵養機能を高め、地球環境保全に資する森づくりを目指しています。林床を明るくすることで、親しみやすい明るい安全・安心な森とし、ハイキングやエコツアーなど利用面での機能向上も図ります。

多様な主体との連携

「飯能・西武の森」は、行政、市民、森林組合、活動団体など、多様な主体と連携し育まれています。西武鉄道では、「森林文化都市」を宣言した飯能市の施策とも連携し、この森を中心とした奥武蔵自然公園のハイキングルートの再整備や、林業振興に取り組むこととしています。適切な森林間伐を行い、郷土ブランドである西川材の森を育てる試みを、隣接の山林所有者と連携して取り組みます。また、市に事務局を置いた「はんのう市民環境会議」との協働により、里山の再生、自然体験イベントなどを実施しています。そのひとつが「天覧山谷津の里づくりプロジェクト」です。田んぼや薪炭林のある里山を再生し、ふるさとの原風景と豊かな生物空間を取り戻そうとするものです。多くの市民の参加により、ササやヨシの刈払い、埋まってしまった水路の掘り起こしなどの作業を進めてい



社会・環境貢献緑地 飯能・西武の森構想イメージ概念図

ます。

今後の展開

本取組みは、目指す方向性を定め、ようやく動き始めたところですが、今後は、社員やOBの参加の機会も増やし、地域やボランティアの方々、行政など関係機関との連携を深めながらこの森を育み、良好な自然環境を保全創出するとともに、「飯能・西武の森」を核としたコミュニティを形成し、ソーシャル・キャピタルの醸成を志して参りたいと考えています。